

正倉院年報

一 染織品の整理

昭和四六年度における染織品の整理は、前年度にひきつづき、南倉一二七号櫃所納の幡類等残欠と南倉所屬の各種衣服類の一部の展開整理を主体とし、あわせて中倉・南倉所屬の辛櫃数合納在の染織品断片の整理を行なった。それらの整理細目および箇々についての特記すべき点はつぎのとおりである。

(一) 幡類等残欠 第二二七号櫃所納

- 一、錦道場幡残欠 二三旒また一二片
 - 一、羅道場幡残欠 七旒また五片
 - 一、錦・羅道場幡各部断片 二八片
- 右三件はいずれも聖武天皇一周忌齋会用の道場幡である。

- 一、夾纈羅幡残欠 二旒
- 一、灌頂幡垂脚残片 五片
- 一、灌頂幡垂脚端飾錦裁文 一片
- 一、天蓋残片 一片

天蓋の縁部の残片で、表裏とも上下二段にそれぞれ違った文様の錦をめぐらし、下辺に錦表・絞纈施裏の垂飾一枚をとどめている。また同

種垂飾の脱離したもの一枚が併存する。

一、襪残片 二隻

二隻ともに浅形。そのうち一隻は浅緑地錦表・白絶裏で、口内に「後鼓撃襪天平勝宝四年四月九日」と、墨書がある。すなわち記銘当日の東大寺大仏開眼会に際して行なわれた伎楽の鼓撃用の襪である。また一隻は赤絶表・白絶裏で、口内に「前二四年四月九日」と、墨書がある。楽名の部分が欠けているが、やはり大仏開眼会当日の楽舞用のものである。

(二) 衣服類

- 一、度羅樂八物のうち
- 婆理衫 一領
- 一、吳樂八十五物のうち

- 金剛布衫 一領 力士褌 一条
- 師子布衫 三領 師子兒衣 一領
- 師子兒布衫 一領 師子兒褌 一条
- 醉胡布衫 一領 迦楼羅布衫 一領
- 吳公袴 一口 吳公前垂 一条
- 吳公用具 一口 婆羅門布衫 一領

治道布衫 一領 治道幘 一条

鼓撃布衫 一領 笛吹袍 一領

一、雑樂九物のうち

細布袍 二領

一、中弟袴 一口

一、袴九口また五褰のうち

白橡藤額絛袴 第一号 一口

赤紫絹袴残欠 第二号 一褰

白絛拾袴 第三号 一口

腰紐の内面に「東大寺大歌袴 天平勝宝四年四月九日」と、墨書がある。

白絛拾袴 第四号 一口

腰脇開の内面に、「寺 前二撃鼓 天平勝宝四年四月九日」と墨書があり、大仏開眼会に行なわれた伎樂の鼓撃の袴であることが判明する。

白絛拾袴 第五号 一口

緋絛袴残欠 第六号 一褰

腰紐の内面に、「東大寺 前二 金剛」と墨書がある。伎樂の金剛の袴である。

紅絛袴残欠 第七号 一褰

腰紐表墨書「東大寺」。

布袴 第一〇号 一口

布袴 第一号 一口

腰部の表につぎの二種の墨書がある。

「臺国」

「老端 長四丈 専当 黒人

白絛拾下袴 第二号 一口

袴残欠 第一三号 一褰

この袴残欠第一三号は、もと詳細不明であったが、今回の展開整理に際し、つぎの三種類にわかれることが明らかになった。

(i) 白絛拾袴残欠 一口 片脚の上半分を存する。

(ii) 黄橡色絛拾袴残欠 大小数多の断片と化していて、復元はできないが、断片中に腰紐の一部を付着するものや襷を有するものが混じっており、袴の残片であることは、ほぼ間違いないであろう。

断片中の二片にそれぞれつぎの墨書が認められた。

「東大」

「後一 天平勝宝月九日」

右の墨書の「後一」と年記によって、大仏開眼会の伎樂の用物であることが判明する。

(ii) 白絛袷裂残片 一片 もとの用途不明。ところどころに緒目がみえるが、袴とは思われない。

⇒ 古裂帖

中倉所屬第八一、八三、八四、八八、八九、九〇、九四、一〇八、一二〇の各号辛櫃所納の古裂断片、および南倉所屬一二六号辛櫃の幡類残欠を整理の際に伴出した古裂断片のそれぞれ一部を織法・染法によって分類し、つぎのとおり古裂帖五冊に分貼した。

帖第七二八号 貼錦断片一五〇片

帖第七二九号 貼錦断片二八九片

帖第七三〇号 貼麁・夾・絞縹断片二七二片

帖第七三一号 貼疊縹夾縹縹・羅断片四四三片

帖第七三二号 貼夾縹紗・羅断片二四三片

二 宝物の修理

本年度において宝物の修理を了えたものは次のとおりである。

(一) 漆工品修理

一、漆金薄絵盤(香印盤) 一雙

(南倉)

木製、一木の割り出しで平たい碗形につくる。上面は浅い平らな割り込みをつくり、全面に布を貼り黒漆を塗る。外面は金箔を置き、丹にて蓮華の蕊線を描く。「香印坐」の銘を有する蓮華座の上に乘る中房を象ったもの。

一、漆花形箱 一〇口

(南倉)

木製曲物黒漆塗り、形状に二種あり。花卉形を思わせるもの八箇と、

闊葉形を思わせるもの二箇で、高さ二・五櫃の側板を立て、全面に布を貼り黒漆を塗る。蓋はない。各底裏には「飛」字あり。

一、瑠璃螺鈿槽篋 一張

(南倉)

一、漆仏龕扉 一扇

(南倉)

一、漆金銀絵仏龕扉 四扇

(南倉)

右五扇、杉板製、内外面共黒漆塗り、長側面には上・中・下三箇所に螺番を取りつく。内外面には金銀泥・顔料等にて樹木や天部像等を描く。但し漆仏龕扉一扇のみは、内面に文様はなく、銅板押出仏(漆金箔押)を貼りつく。

(二) 皮革品の修理

一、革帯 二条

(中倉)

右鉸具裏座に刻銘あり

其の一 「東大寺」

其の二 「上」

一、革帯 一条

(南倉)

右鉸具・鉈尾裏座に刻銘あり

鉸具云 「東大寺」

鉈尾云 「唐古楽」

右帯一条には丸柄二箇・巡方三箇の脱落があり、革帯残闕二裏(南倉)中より品質・分量共に合致するものを選出し、これに取り付く。

一、革帯 一条

(南倉)

刻銘、鉤尾裏座云「猶樂」

右帯一条には丸鞆二箇の脱落があり、前記裏中より品質・法量共に合致するものを選出し、これに取りつく。

一、革帯 一条

(南倉)

刻銘、鉤具裏座云「東大寺」

鉤尾裏座云「吳楽前二」

右帯一条は、前半部を前記裏中より発見、接合す。

以上革帯五条は、細長い革を袋状に仕立て黒漆を塗る。これを一乃至二箇所にて縫ぎ、先端に鉤具、尾端に鉤尾を、中間部には丸鞆、巡方合せて十一乃至十二箇を取りつけ、その後方に帯止めの小円孔を三孔穿ち完形とする。

一、履 第六・十号 二両

(南倉)

履内底及び内敷表に墨書あり。

六号其の一 内底云「中 九人足 廿一日」

内敷云「丁」

其の二 内底云「中 九^(人カ)□足 廿一日」

内敷云「丁」

十号其の一 内底云「中己 九人足

七 廿七日」

其の二 内底云「中己 九足

七 廿七日」

三 経巻の修理

昭和四六年度における聖語藏経巻の修理は、前年度に引き続き乙種写経三〇巻と宋版経一一帖とを完了した。内訳は左の通りである。

乙種写経 第九号大方等大集経巻二四より、第九九号大唐内典録巻四(甲)まで三〇巻。

宋版経 第三号大涅槃経巻三二より、第四号大方等大集経巻二九まで、一一帖。

宋版経一一帖のうち第三号大涅槃経巻三五は、同経巻四〇に混在せる断簡を発見、これを新たに立てて一帖としたものである。

また今年度修理の宋版経には、右のほかにもと数目不明なる一帖が存したが、これは同経諸帖の断簡を拾集したもので、修理に際し、各断簡をそれぞれ該当帖に移し合併修補したため消滅した。

乙種写経 宋版経とも虫損破損が多く、それぞれ旧態を損じないよう修補を加えた。標紙、軸を逸失せるものは、古様に模して新補した。

乙種写経は、紙背に「寶」あるいは「佛」字印、梵字印、宝塔印を有するものあり、おおむね鎌倉、室町時代の書写にかかる。巻末識語のうち主なものを掲げる。

九四号 大方等大集経巻二四

「 八日五部大乘一日書写之」

九五号 阿毘達磨俱舍論巻二三

「康元々年十一月^一九^二〇^三」^{（一）}於東大寺尊勝院二棟北面奉読之^{（二）}

四 宝物の特別調査

今年度は、昨昭和四五年度から三ヶ年の計画ではじめられた金工品調査の第二年度である。今年度は、昨年度調査を了えた鏡及び正倉院展に出陳中のものを除く、主たる金工品のすべてについて調査を行なった。その品目は次の通りである。

一、投壺	一口	（中倉）	一、金銅合子	一合	（同）
一、銀壺	一雙	（南倉）	一、赤銅合子	三合	（同）
一、銀提子	一口	（同）	一、黄銅合子	一合	（同）
一、佐波理水瓶	二口	（同）	一、佐波理合子	一合	（同）
一、銀鉢	五口	（同）	一、銀合子	二合	（同）
一、金銅八曲長环	三口	（同）	一、銀合子	一合	（同）
一、金銅六曲花形环	一口	（同）	一、佐波理加盤	一合	（中倉）
一、銀盤	四枚	（同）	一、佐波理皿		（南倉）
一、金銅小盤	一枚	（同）	一、銅匙		（同）
一、金銅六角盤	一枚	（同）	一、金銀匙	一枚	（同）
一、金銀花盤	一枚	（同）	一、金銀箸	一雙	（同）
一、佐波理碗	一口	（同）	一、柄香炉	四口	（同）
一、金銅花形合子	一合	（同）	一、火舎	二口	（中倉）
一、金銅大合子	四合	（同）	一、金銅幡	一条	（南倉）
			一、金銅鳳形裁文	一枚	（同）
			一、仏像型	三枚	（同）
			一、錫杖	二枚	（同）
			一、三鈷	一枚	（同）
			一、馬鞍		（中倉）
			一、御甲殘闕		（北倉）

一、鑢子	四具	(南倉)
一、金銅剪子	一枚	(同)
一、針	二雙三隻	(同)
一、鉈	五	(同)
一、錯	三	(同)
一、刀子	二	(同)
一、鑽	一	(同)
一、打鑽	六	(同)
一、多賀櫛	四	(同)
一、鉄方響	九枚	(同)
一、銀薰炉	一合	(北倉)
一、銅薰炉	一合	(中倉)
一、金銅水瓶	一口	(南倉)
一、山水鳥獸背円鏡	一面	(同)

調査は、奈良国立博物館長蔵田蔵、東京芸術大学教授内藤四郎、同三井安蘇夫、同助教授鈴木信一の四氏に委嘱し、東京国立博物館金工室長中野政樹氏がこれを補助した。